



中江船橋市議、国労の仲間、家族会、不当解雇処分を受けた仲間の
固い決意表明に、満場の熱い拍手と声援が送られた。(6/27)

船橋上映会も大成功



— “動労千葉の団結力がうらやましい”の声

六月二十七日、船橋において、「俺たちは鉄路に生きる！」上映会が開催された。会場の船橋中央公民館には、動労千葉組合員をはじめ、五〇名にも及ぶ国労労働者、全通、教組、民間の労働者と市民、学生三九五名が結集し、大成功をかちとった。

「もつとイスをだせ!!」

「いやー、いっぱい入っているね」上映中途にかけつけた組合員の第一声である。予定していた数のイスでは足りなくなり、青年部員が上映中にもイスを追加するほどの大入り満員だった。

上映会は、十八時すぎ、船橋市民の会の仲間が司会あいさつをした後、山下支部長が、動労千葉の闘う決意と参加御礼を述べて開会となった。

スクリーンいっぱい動労千葉組合員の強烈な行動が映し出される。「これがストライキだ」といった臨場感が伝わってくる。

全参加者が、息を殺してジーと観入る。上映が終り、照明が明るくなると、フリーというタメ息が会場をおおっていた。主催する側までが緊迫させられた上映会であった。

上映後、中江船橋市議、闘う国労の仲間、家族会のあいさつを行い、最後に、津田沼支部の被解雇者五名が登壇した。代表して綾部書記長が、決意表明を行い、大成功のうち上映会をしめくくった。

青年部員が大奮闘
スト拠点の地元、船橋
で動労千葉のストを、
地域の労働者はどう思
っているのか？ まっ

86. 7. 4

No. 2284

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七

たく未知数であり、不安であった。しかも、時期がダブル選挙の終盤戦であり、各役員・活動家が最も忙しい頃なのだ。我々は、上映会成功にむけて、国労、全通、教組、民間の仲間たちと上映準備会を結成し、二度にわたる会合を開いて準備を進めてきた。

諸行動を担ったのは青年部員であった。津田沼では明けの乗務員が、幕張からは年休動員で、連日労組オルグに回った。千転青年部も応援にかけつけた。こうして各労組、支部、分会のベニ一ヶ所への参加要請を行い、八二〇枚の整理券の販売・委託の成果をあげた。国労の有志は独自にオルグを行い、街頭ビラまきにも連日決起していった。

上映会成功の力を7・20集会へ

ビラまきの最中に、チケットが欲しいという人や、電話での問い合わせがあいついだ。

当日、ふたをあけてみると、事前の予想以上の労組員が参加してくれた。回収されたアンケート七〇枚のうち、ほとんどに動労千葉の団結力がうらやましい、ということが書かれていた。こうした事実で、動労千葉の二波のストが、確実に労働者の心をとらえていることを改めて確認できた。

津田沼支部は、現在かけられている差別・選別攻撃に屈することなく、さらに団結を強め、分割・民営化阻止にむけ闘いぬく。この上映会成功の力を当面、7・20国鉄集会へ発展させるべく、さらに奮闘していくことを決意するものである。

〔津田沼支部通信員・発〕